

調布市防災用トイレカー配備について（実施報告）

令和 7 年 2 月報告
二 本 松 自 治 会

調布市が令和 6 年 9 月 1 日、都内初のトイレカー導入に向けて、ふるさと納税型クラウドファンディング（CF）を始め、協力を呼びかけました。このプロジェクトは、調布市が被災した場合はネットワーク参加自治体のトイレトレーラー支援を受けられ、他自治体が被災した場合は同市のトイレカーを含めて登録団体が被災地に集まり、支援を行う仕組みで、令和 6 年 8 月現在、参加自治体は全国 22 カ所で、「みんな元気になるトイレ」は 84 室（4 台は 3 室仕様）、1 日 2 万 7500 回のトイレ需要に対応できるものです。

目標金額は 800 万円。寄付 10 万円以上の返礼は、車両への氏名・団体名記載と礼状、感謝状、1 万円以上の場合は、氏名・団体名記載と礼状を用意するというもの。

平時は、調布基地跡地運動広場（調布市西町）に常設し施設利用者の常設トイレとして利用するほか調布市イベントの仮設トイレとしても活用し、災害への備えの周知・啓発に取り組んでいくという。

当自治会はこの趣旨に賛同（第 5 回役員会“令和 6 年 10 月 5 日開催”で審議・賛成多数で承認）し、寄付として **10 万円を支出**しましたので報告します。

この活動に対して調布市の長友市長から「御礼状」、及び「感謝状」が届きましたのでご報告いたします。

【クラウドファンディングの実績結果】

寄付金額：**1,514 万円** 支援者数：**235 人**

【協定締結式兼納車式】

調布市では災害時に置けるトイレカーの派遣協力体制を構築し、災害時トイレ対策の強化を行う協定を締結。また、協定締結に伴い協定締結式兼納車式を実施しました。

締結先：一般社団法人 助け合いジャパン

締結日：令和 7 年 1 月 8 日

【調布市事業での活用】

令和 7 年 1 月 12 日に実施した調布市消防団出初め式にて、市民の皆様に車両をお披露目しました。当日は実際にトイレとして使用しました。

【被災地支援】

令和 7 年 1 月 15 日から、石川県輪島市へ調布市防災用トイレカーを派遣しています。

以上